

事後評価【番号1】

菅生地すべり防止区域  
地すべり対策事業

# 1. 地すべり対策事業の目的

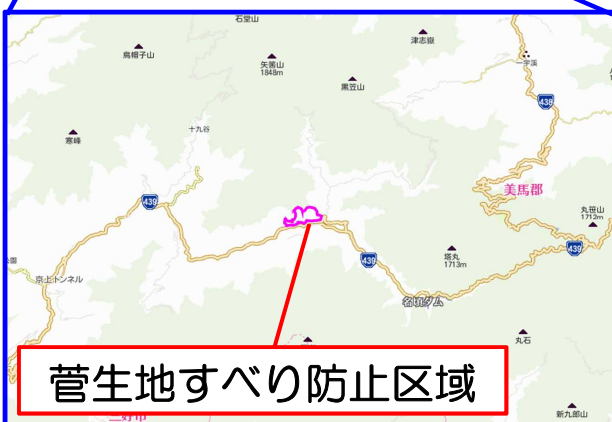
## 事業の目的

場所：三好市東祖谷菅生(菅生地すべり防止区域)

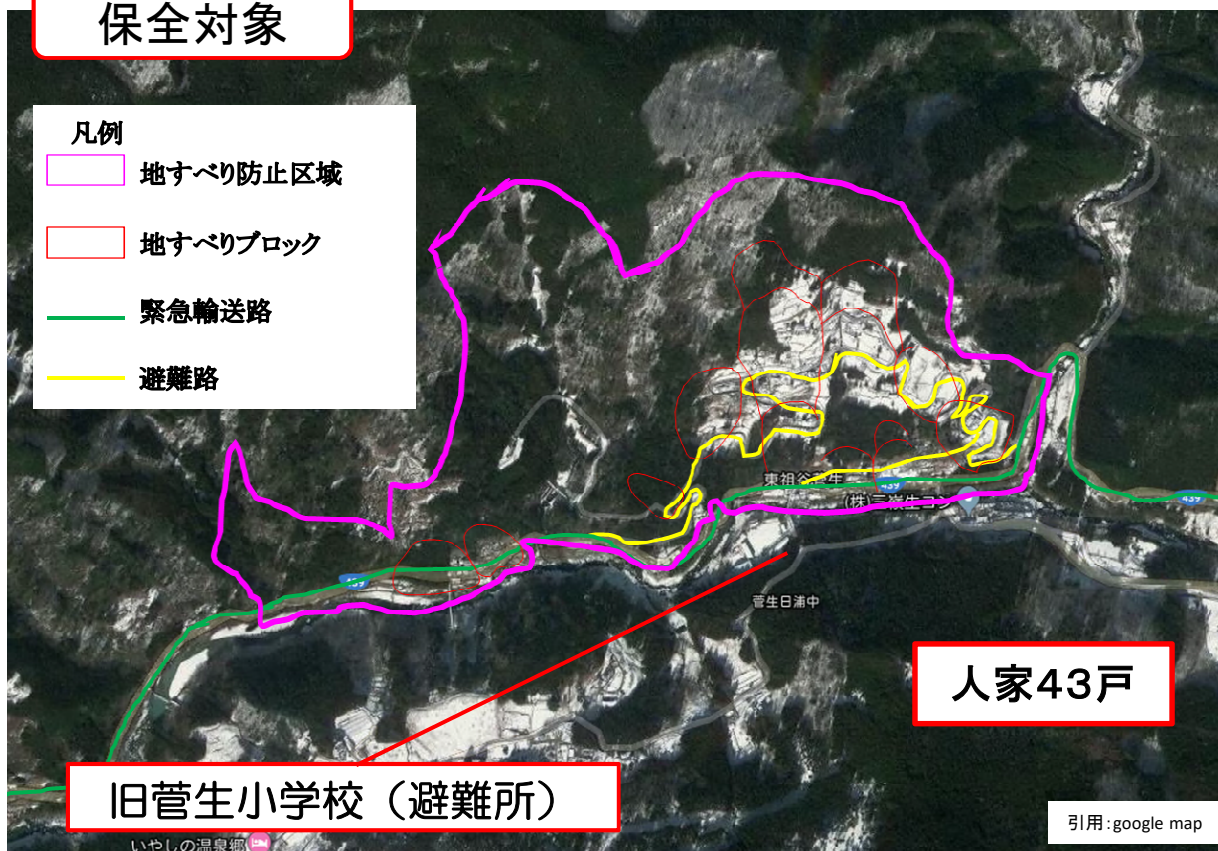
保全対象：人家43戸、旧菅生小学校(避難所)、国道439号1, 380m(緊急輸送路)、  
市道1, 920m(避難路)

現況：市道擁壁の変状や石積みの押し出しなど地すべり兆候が多数見受けられる

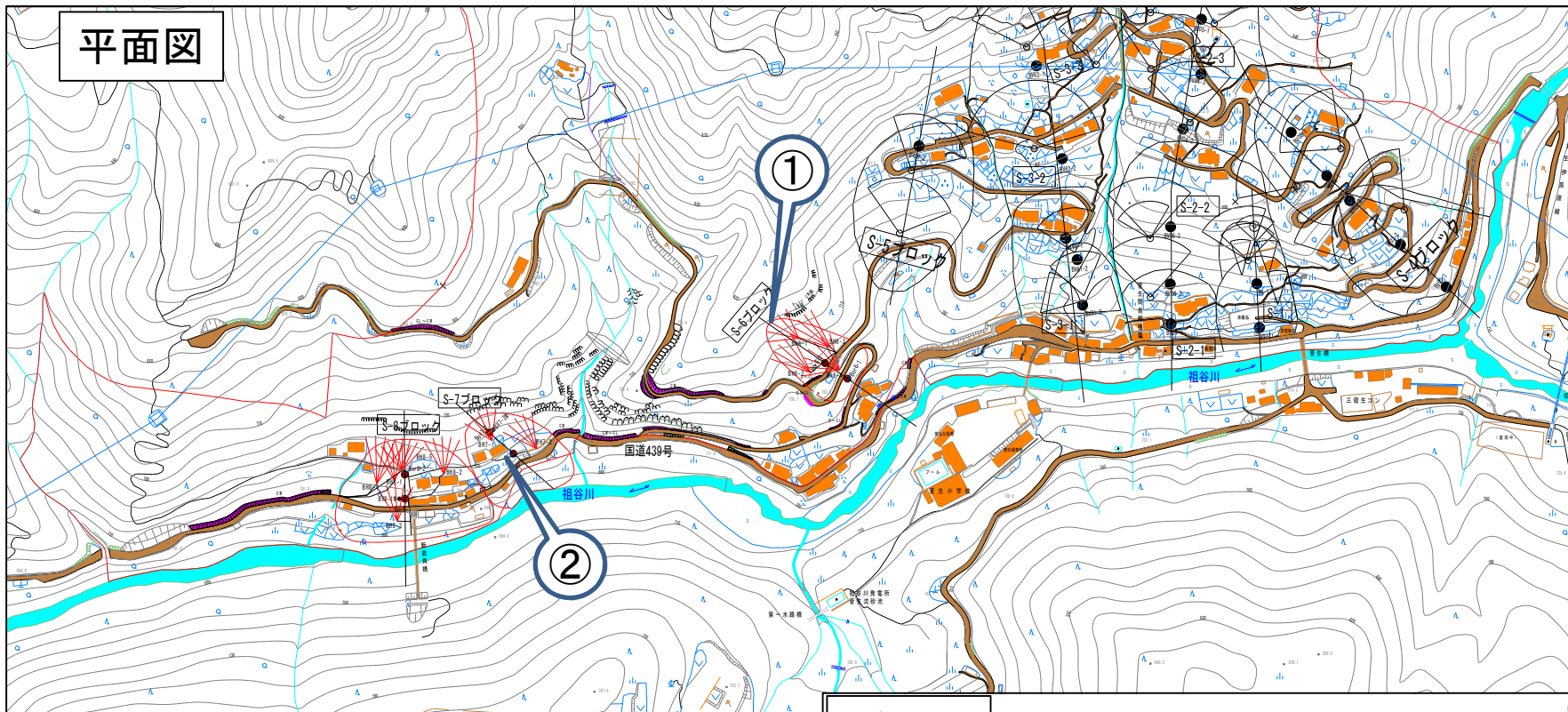
## 位置図



## 保全対象



## 2. 地すべり対策事業の概要



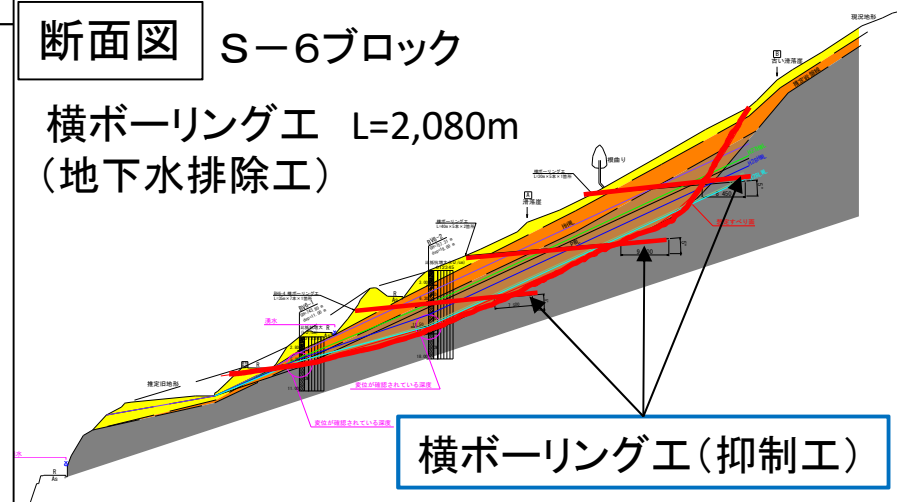
① ブロックの冠頭部  
(滑落崖)



② 石積みの押し出し

断面図 S-6ブロック

横ボーリング工 L=2,080m  
(地下水排除工)



### 3. 地すべり対策事業の効果

#### 整備効果

- ・人家: 43戸
- ・旧菅生小学校(避難所)
- ・国道439号(緊急輸送路)
- ・市道(避難路)

S-6ブロック

#### 費用便益分析 $B/C=33.4$

事業期間: 平成21年度～平成29年度

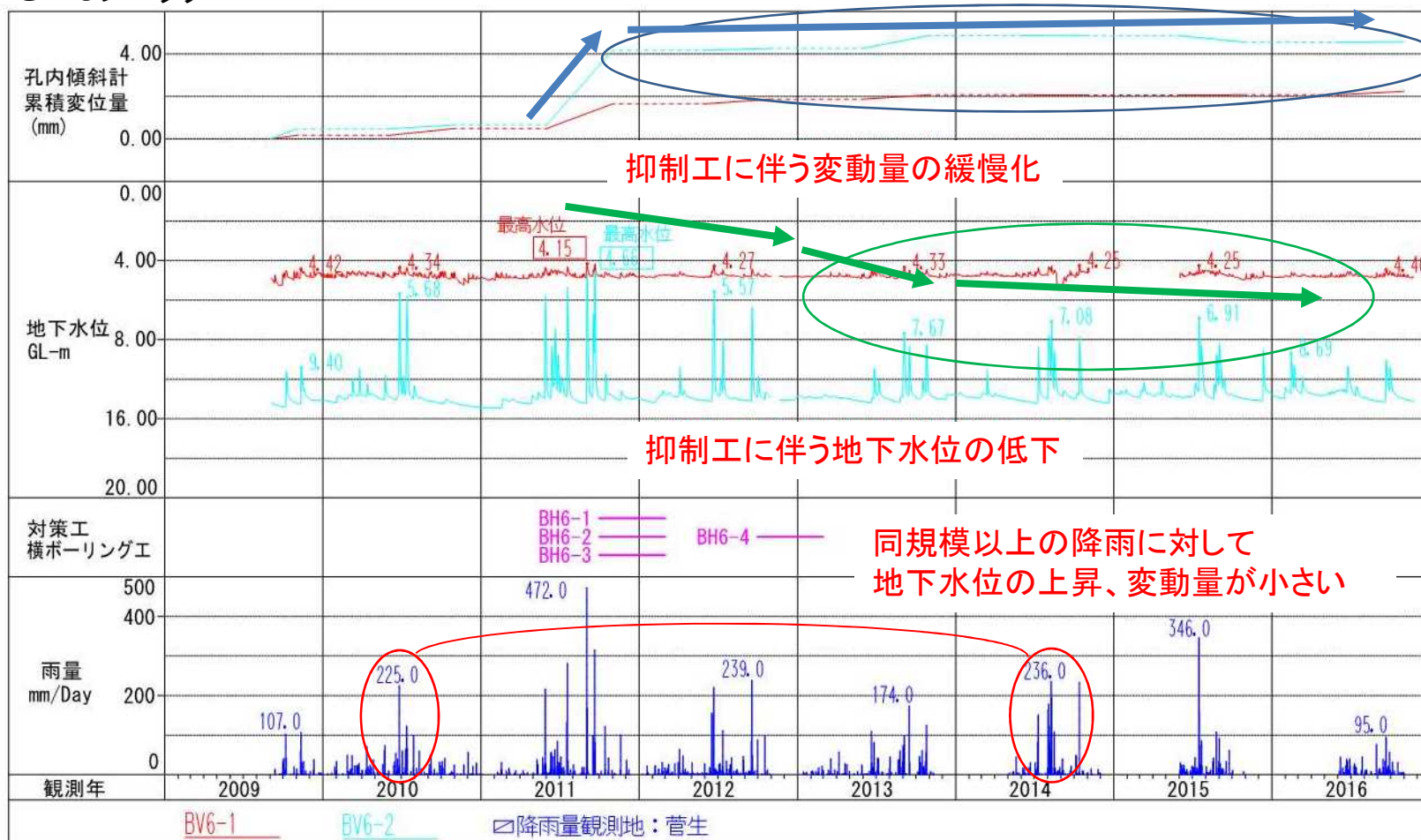
評価基準年: 平成30年

総便益: 3,406百万円

総費用: 102百万円



横ボーリング工  
(S-6ブロック)



## 砂防事業によるストック効果 <地すべり対策事業 菅生>

○菅生地すべり対策事業では、

- ・人家43戸
- ・避難所である旧菅生小学校
- ・避難路である名頃菅生小学校線・菅生線
- ・緊急輸送路である国道439号

を保全した。

○地すべり防止施設の整備により

- ・重要施設(避難所)の保全
- ・避難経路の確保
  - 地域の総合的な防災力向上
- ・国道439号の保全
  - 観光産業(剣山)の安定

といったストック効果が期待される。

